

## 沿 革 (敬称略)

- 1939 (昭 14) 菅重義がアメリカより帰国後、洋弓を紹介。  
以後、日本親善の通信競射大会が4回まで実施されたが戦争で中断。
- 1949 (昭 24) 日本洋弓会が設立される。
- 1949 (昭 24) 早稲田大、慶應義塾大、明治大で洋弓をはじめ、GHQハビソン大佐の  
努力で日米親善試合を実施。
- 1956 (昭 31) 洋弓会を「日本アーチェリー協会」と改称。

### 【学習院洋弓部の沿革】

- ①学習院大学アーチェリー部は日本のアーチェリー界、  
学生アーチェリー界創成期からの草分けであります。
- ②45年前の学生連盟の各競技会に第1回から参加をし、  
また関東ばかりでなく、関西の各大学との定期戦を実施し、  
学生間の交流を行ってまいりました。
- ③個人では1980年モスクワ・オリンピック大会(この大会は、残念ながら  
ソ連のアフガン侵攻に抗議し、日本政府として大会ボイコット表明、結果日本選手団は不参加)  
世界選手権大会、全日本選手権大会に多くの選手を輩出しております。
- ④OB・OG会である、ブルズ・アイ倶楽部は2007年3月末  
会員総数518名の組織となり、毎年総会・懇親会を実施し  
盛況であります。

- 1957 (昭 32) 5月樺山庸夫(昭和34年卒)他数名で弓道部再建を発起する。

- 1959 (昭 34) 東京教育大学(現 筑波大学) 日本体育大学 玉川大学 学習院大学の四校により日本学生アーチェリー連盟を結成する。
- 1959 (昭 34) 3 月愛好会としての内定を受け20日六義園にて発会式を実施。
- 1959 (昭 34) 4 月輔仁会大学支部弓道愛好会として正式に承認される。  
 部長 鈴木正三(体育科教授)  
 顧問 小山直彦 石上太郎 笥泰彦 松村憲三  
 磯部忠正  
 師範 安藤清兵衛(和弓 六段練士)  
 コーチ 川上源一 (洋弓 名誉コーチ:アーチェリー協会会長)  
 コーチ 小沼英治 (和弓/洋弓 アーチェリー協会副会長)  
 飯田有正 (和弓/洋弓 アーチェリー協会副会長)
- 1959 (昭 34) 東京教育大学(現 筑波大学) 日本体育大学 玉川大学 学習院大学の四校により日本学生アーチェリー連盟を結成する。
- 1960 (昭 35) 関西学院大学と男子定期戦の開始
- 1960 (昭 35) 7 月院内レンジ完成(現大学体育館裏)
- 1961 (昭 36) 入江隆(昭和39卒)ノルウェーで開催の世界選手権出場(第 21 回大会)
- 1961 (昭 36) 甲南大学と男子定期戦の開始
- 1961 (昭 36) 4 月日本学生アーチェリー連盟を関東と関西に区分  
 関東学生アーチェリー連盟 東京教育大, 日体大, 玉川大, 学習院大, 成城大  
 立教大, 慶應義塾大, 明治大, 早稲田大  
 関西学生アーチェリー連盟 関西学院大, 同志社大, 甲南大  
 立命館大, 関西大, 大阪府立大
- 1962 (昭 37) 甲南大学と女子定期戦の開始
- 1962 (昭 37) 四大学競技大会が男女混合で開始  
 昭和37年~39年 成城大, 成蹊大, 学習院大の三大学  
 昭和40年~42年 上記大学に武蔵大学が加わり四大学
- 1962 (昭 37) 3 月全日本学生アーチェリー連盟の準備会が終わり,

初代委員長に入江隆(昭和39卒)選任。

- 1962 (昭 37) 4月「全日本学生アーチェリー連盟」結成式(駒沢公園弓道場にて)
- 1962 (昭 37) 4月新部長に波多野里望先生(国際法助教授)を迎える。  
顧問も新に、恒松制治、鈴木正三、門脇卓爾、詫摩武俊の  
四先生を迎える。
- 1963 (昭 38) 6月第2回 男子王座決定戦 (富士製鉄浜田山グラウンド)  
● 学習院大学 3628 - ○ 関西学院大学 3759
- 1963 (昭 38) 9月第2回 全日本学生個人選手権大会  
川又千文(昭和42卒) 優勝(857)
- 1963 (昭 38) 10月全日本個人選手権大会  
有明友子(昭和41卒) 優勝(954)
- 1964 (昭 39) 関西学院大学と女子定期戦の開始
- 1964 (昭 39) 6月輔仁会大学支部愛好会より同好会に昇格。
- 1964 (昭 39) 6月第3回 男子王座決定戦に2年連続出場(京都府立大学グラウンド)  
1位 関西学院大学 4132  
2位 学習院大学 3887  
3位 愛知 大学 2875
- 1964 (昭 39) 9月第3回 全日本学生個人選手権大会  
有明友子(昭和41卒) 優勝(1036)
- 1966 (昭 41) 創部10周年記念式典開催(椿山荘)
- 1966 (昭 41) 3月全日本アーチェリー連盟発足。
- 1966 (昭 41) 6月第1回 女子王座決定戦に出場し王座獲得(京都府立大植物園グラウンド)  
○ 学習院大学 1829 - ● 同志社大学 1664
- 1966 (昭 41) 10月全日本個人選手権大会  
川又千文(昭和42卒) 優勝(1002)
- 1967 (昭 42) 同好会より部に昇格。

- 1967 (昭 42) 6 月第2回 女子王座決定戦に連続出場し王座獲得連覇 (駒沢球技場)  
○ 学習院大学 1906 - ● 同志社大学 1705
- 1967 (昭 42) 11 月全日本個人選手権大会  
笹原京子(昭和44卒) 優勝 (1071)日本新記録
- 1968 (昭 43) 昭和 38 年より開始された四大学競技大会が混合から男女に分かれて  
実施される。
- 1968 (昭 43) 9 月第7回 全日本学生個人選手権大会  
広 瀬 明(昭和47卒) 優勝(1112)
- 1969 (昭 44) 西由利子(昭和45卒)アメリカで開催の世界選手権出場 (第 25 回大会)  
Sラウンド 団体日本新記録(谷, 西, 平田)3234点  
Wラウンド 団体日本新記録(谷, 西, 平田)6453点
- 1969 (昭 44) 学習院大学運動部会賞  
優秀団体賞                   アーチェリー部  
最優秀選手賞               西 由利子 (昭和45卒)  
新 人 賞                     古 家 薫 (昭和48卒)
- 1969 (昭 44) 6 月第4回 女子王座決定戦                   (駒沢第一球技場)  
● 学習院大学 2385 - ○ 甲南大学 2506
- 1970 (昭 45) 学習院大学運動部会賞  
最優秀団体賞               アーチェリー部  
優秀選手賞               保 川 茂 也(昭和47卒)  
新 人 賞                     小 林 まき子(昭和45卒)
- 1970 (昭 45) 6 月第9回 男子王座決定戦において初の王座獲得 (駒沢第二球技場)  
○ 学習院大学 4540 - ● 桃山学院大学 4535
- 1971 (昭 46) 古家薫(昭和48卒)第26回世界選手権大会選考会  
Sラウンド 30M 日本新記録 326点  
Wラウンド 30M 日本新記録 643点
- 1971 (昭 46) 学習院大学運動部会賞

最優秀団体賞	アーチェリー一部女子
最優秀選手賞	古家 薫 (昭和48卒)
新人賞	池田 聡 (昭和50卒)

- 1971 (昭 46) 関東学生アーチェリー連盟, 部リーグ入替戦を2校から4校に変更  
(1部 5位/6位と2部 1位/2位の4校にて入替戦の結果  
上位2校が上部リーグへ)
- 1971 (昭 46) 6月第6回 女子王座決定戦において4年ぶり王座奪回 (神戸王子競技場)  
○ 学習院大学 2597 - ● 梅花女子大学 2464
- 1972 (昭 47) 学習院大学運動部会賞  
最優秀選手賞 古家 薫 (昭和48卒)  
優秀選手賞 岩本 和子 (昭和49卒)  
優秀選手賞 池田 聡 (昭和50卒)
- 1973 (昭 48) 広瀬明(昭和47卒)フランスで開催の世界選手権出場 (第27回大会)
- 1973 (昭 48) 古家薫(昭和48卒)フランスで開催の世界選手権出場 (第27回大会)
- 1974 (昭 49) 11月全日本個人選手権大会  
広瀬明(昭和47卒) 優勝 (2450--1235/1215)
- 1975 (昭 50) 広瀬明(昭和47卒)スイスで開催の世界選手権出場 (第29回大会)
- 1975 (昭 50) 11月全日本個人選手権大会  
広瀬明(昭和47卒) 2年連続優勝  
70M(324)日本新
- 1976 (昭 51) 創部20周年記念式典開催(学習院大学 学生食堂)
- 1977 (昭 52) 広瀬明(昭和47卒)オーストラリアで開催の世界選手権出場(第31回大会)
- 1978 (昭 53) 7月現院内洋弓場改修工事完了
- 1980 (昭 55) 4月広瀬明(昭和47卒)モスクワ オリンピック日本代表決定  
(注:日本は不参加)
- 1980 (昭 55) 5月射場事故発生により、一時洋弓場の使用中止(ネット工事後再開)

- 1980 (昭 55) 7月第15回 女子王座決定戦 (大阪・長居陸上競技場)  
● 学習院大学 5503ー ○ 福岡大学 5573
- 1982 (昭 57) 関東学生アーチェリー連盟, 男子部リーグをABブロック制を開始
- 1982 (昭 57) 3月創部25周年記念式典開催(27日:学習院創立百周年記念会館)  
出席者 122名
- 1982 (昭 57) 7月第17回 女子王座決定戦 (大阪・長居陸上競技場)  
● 学習院大学 5556 ー ○ 同志社大学 5640
- 1986 (昭 61) 関東学生アーチェリー連盟, 女子部リーグをABブロック制を開始
- 1986 (昭 61) 6月女子ブロック代表決定戦  
● 学習院大学 2918 ー ○ 日本体育大学 3065  
(1部 Bブロック) (1部 Aブロック)
- 1987 (昭 62) 6月女子ブロック代表決定戦  
● 学習院大学 2934 ー ○ 日本体育大学 3048  
(1部 Bブロック) (1部 Aブロック)
- 1987 (昭 62) 11月創部30周年記念式典開催(8日:東京ステーションホテル)  
出席者 122名
- 1989 (平 01) 7月「学習院大学洋弓部OB会」の名称を「学習院大学ブルズ・アイ倶楽部」  
に改称。  
  
同日、「学習院大学ブルズ・アイ倶楽部規約」が制定され, 総会決議,  
決定承認後, 実施。
- 1992 (平 04) 11月創部35周年記念式典開催(14日:新宿 伊勢丹プチモンド)  
出席者 131名
- 1995 (平 07) 6月女子ブロック代表決定戦  
● 学習院大学 2938 ー ○ 日本体育大学 3129  
(1部 Bブロック) (1部 Aブロック)

- 1997 (平 09) 6月女子ブロック代表決定戦  
● 学習院大学 2864 - ○ 日本体育大学 3055  
(1部 Aブロック) (1部 Bブロック)
- 1997 (平 09) 11月創部40周年記念式典開催(8日:東京プリンスホテル)  
出席者 213名
- 1998 (平 10) 11月院内洋弓場に夜間照明完成
- 2002 (平 14) 4月波多野里望教授ご退官により,アーチェリー部長をご引退。  
(今後はブルズ・アイ倶楽部特別会員としてご指導を賜る)  
新部長として山下純司先生(法学部助教授 民法専攻)を迎える。
- 2002 (平 14) 10月創部45周年記念式典開催(26日:東京プリンスホテル)  
出席者 145名
- 2007 (平 19) 7月第42回 女子王座決定戦 (ヤマハリゾートつま恋)  
学習院大学 最終成績 16校中 第6位  
(予選ラウンド11位から勝ちあがり)
- 2007 (平 19) 12月創部50周年記念祝賀会開催(15日:ハイアットリージェンシー東京)

以上